### 第1号議案

# 令和5年度事業報告及び収支決算について

# 1 令和5年度事業報告について

第40事業年度 (自 令和5年4月1日) 至 令和6年3月31日)

当財団は、中小企業の総合的支援機関として、新産業創出や経営革新への支援、産業技術の 高度化や科学技術の振興、産学官の共同研究開発への支援などに取り組んでいる。

令和5年度は、経営相談窓口を週3日から5日開催に拡充し、中小企業診断士等の専門家が各事業者の実情に応じた相談対応を行うとともに、新たにIT専門家を中小企業に派遣し、ITシステム導入等の課題解決を図るなど支援に努めた。また、新かがわ中小企業応援ファンド等事業では、新たに県の補助金も活用して、県内の中小企業者等が行う研究開発や販路開拓に対する支援を行うとともに、「よろず支援拠点」や「プロフェッショナル人材戦略拠点」などと連携して、きめ細やかなワンストップサービスでの支援を実施した。

※各事業右記載の金額は、経常費用の額である。

# 公益目的事業

# I 新産業の創出や地域産業の革新、地域企業の経営基盤強化のための相談・指導、情報提供、助成及び資金貸付等の事業

決算額

#### 1 新事業創出等支援事業(県補他)

10.987 千円

県内中小企業等の新事業の創出や経営革新などを積極的に推進するため、各産業支援機関 と連携を取りながら、研究開発から事業化、販路開拓に至るまでの総合的な支援を実施した。

事業名	内容	件数等
相談事業	「スタートアップ等経営相談窓口」として、創業前から創業後のサポートまで、専門家による起業家の成長段階に応じたきめ細かな相談対応を実施するとともに、総合経営相談窓口の体制充実を図った。また、「認定支援機関」として、ものづくり中小企業・小規模事業者が実施する試作品の開発や設備投資等の補助金申請に係る事業計画書作成を支援した。	980 件
支援体制整備事業	地域の支援機関と連携を図るため、産業支援機関連 絡会議を開催した。(令和5年5月22日)	1回

717 千円

#### 【創業支援塾事業】

県内での創業を目指す者を対象に、創業に当たっての実務ポイントを一体的かつ体系的に 学習ができ、かつ具体的なビジネスプランが策定できるよう、実践的な創業支援塾を開講す ることにより、創業の促進を図った。

#### ○かがわ創業塾

開催日時	受講者数
令和5年7月28日~9月1日 (全5回)13時~17時	31名(うち全課程修了者24名)

#### 3 起業等スタートアップ支援事業(県補)

14.846 千円

県内での社会的事業における効果的な起業等を促進し、地域の諸課題の解決を通じた地域活力の向上を図ることを目的に、デジタル技術を活用し、県内で起業等を行う者に対して、その起業等に要する経費の一部を補助した。

類型	対象事業	補助金上限額	申請/採択件数
地域課題解決型	地域活性化関連、子育て支援、健 康関連、買物弱者支援、まちづく りの推進などの社会的事業分野 で、デジタル技術を活用し、地域 の課題の解決に資する事業	200 万円 (補助率 1/2 以内)	27 件/10 件

#### 4 中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業(よろず支援拠点)(国委)

90.152 千円

県内中小企業等への支援体制を強化するため、「香川県よろず支援拠点」に、チーフコーディネーター1名とサブチーフコーディネーター2名、コーディネーター19名を配置し、他の支援機関とも連携しつつ、総合的・先進的経営アドバイス、個別事案に最適な支援チームの編成などによる中小企業支援事業を国から委託を受け実施した。

また、県内中小企業等の経営者等を対象に、セミナーを開催した。

- 相談対応件数 令和5年度7,011件(令和4年度5,870件)
- よろずセミナー実施回数 令和5年度 45回(令和4年度 52回)

#### 5 中小企業デジタル化推進支援事業(県補)

#### 4,694 千円

県内中小企業等のデジタル技術・RPA・IoTの利活用の促進を目的として、デジタル技術等の導入を希望する県内中小企業等に対し、IT専門家(ITコーディネーター)を派遣、個別コンサルティングを実施し、導入計画の策定等の個別相談をするとともに、セミナーや個別コンサルティングの成果報告会を開催し、効果的な取り組み事例等の横展開を図った。

#### ○ セミナー 計6回 開催

	開催日	テーマ	受講者数
第1回	令和5年 7月6日	kintone×IoTで取り組み当社のデジタル化	59名
第2回	令和5年 8月29日	RPA、UiPath による社内自動化の取り組み	44名
第3回	令和5年 10月5日	事例から学ぶIoT・DXへの取り組み	41名
第4回	令和5年 11月10日	無料RPA入門講座	66名
第5回	令和5年 11月29日	DX事例セミナー2023	27名
第6回	令和5年 12月22日	製造業のデジタル化セミナー	47名

#### ○ 個別コンサルティング

計 19 社へ I T専門家 (I Tコーディネーター)を派遣、個別相談を実施し、県内中小企業等のデジタル化に関する様々な課題解決を支援するとともに成果報告会を開催した。

	開催日	テーマ	参加者数
成果報告会	令和6年 2月27日	デジタル化活動発表会	72名

#### 6 農業の6次産業化等促進事業(県委)

2, 107 千円

県から委託を受け、かがわ農山漁村発イノベーションサポートセンターを設置し、経営改善に意欲的な農山漁村発イノベーションに取り組む事業者等に対して、登録する地域プランナー等を派遣することにより、経営改善に取り組む上での様々な課題の解決のために迅速かつ弾力的に支援を行った。

- (1) かがわ農山漁村発イノベーションサポートセンターの設置
- (2) 地域プランナーの委嘱 4名
- (3) 経営改善に向けた支援対象者数 5事業者

支援対象者	所在地	支援内容
株式会社伊吹島プロジェクト	観音寺市	「釜揚げいりこ」の販路拡大
五郷里づくりの会	観音寺市	「里山歩き」と「ピザ焼き体験」に よる地域活性化
白川農場株式会社	三豊市	自社生産した農産物 (ニンニク) を 活用した加工品開発
島ヶ峰の原風景を守る会	仲多度郡まんのう町	「そば」の栽培と加工による地域 活性化
社会福祉法人ラーフ	観音寺市	地域食材(いりこ)を活用した「ま ぜご飯の素」の開発と販売

- (4) 農山漁村発イノベーション都道府県サポート事業電話等相談 相談件数 261件
- (5) 人材育成研修会の開催状況
  - ○参加事業者:延べ53名
  - ○参集範囲 :農林漁業者、食品製造業者、金融機関、商工会、行政等

	開催日	開催場所	テーマ	講師	受講者数
第1回	令和5年 7月26日	香川産業頭 脳化センタ ービル 2階 一般 研修室	インボイス 制度	高松税務署 審理専門官	20 名
第2回	令和5年 9月3日	土庄町立渕 崎公民館 多目的室 ほか	農山漁村発 イコンに地域 日本に地域 活性化の 良事例	屋形崎夕陽の丘継承会 会長 五郷里づくりの会 会長	24 名
第3回	令和5年 9月19日	香川産業頭 脳化センタ ービル 2階 一般 研修室	Eコマース を活用した 新たな販売 の展開	かがわ農山漁村発イノベーション サポートセンター 地域プランナー 豊田 浩伸 氏	9名

#### 7 知財総合支援窓口運営事業(国委)

23,000 千円

「知財総合支援窓口」を設置し、中小企業等が抱える知的財産に関する悩みや課題をワンストップで解決できる支援を行うとともに、中小企業等が企業経営の中でノウハウも含めた知的財産活動についてアイデア段階から事業展開まで一貫した支援を行ったほか、知的財産セミナー等の開催や企業訪問などにより知的財産の重要性等の普及啓発を行った。

#### (1) 相談支援実績

項目	実績
支援件数	2,117 件
うち新規件数	148 件
周知件数	317 件
連携件数	241 件
関係機関と連携した臨時窓口回数	119 回

#### (2) 知的財産セミナーの開催状況

#### ① 知的財産経営支援セミナー

開催日	開催場所	テーマ	講師	
令和5年 12月20日	香川産業頭脳化 センタービル2階 一般研修室	知財経営支援 ケーススタデ ィセミナー	三菱UF J リサーチ&コンサルティング研究員 弁理士 北口 景子 氏	24名

### ② 海外展開支援セミナー

開催日	開催場所	主催	テーマ	講師	受講 者数
令和5年 9月29日	香川産業頭脳化 センタービル2階 一般研修室	ジェトロ香川 香川県 かがわ産業支援財団 香川県知財総合支援窓 口	越境EC による 海外進出	INPIT 久永 道夫 氏	19名

#### ③ 窓口知財セミナー

開催日	開催場所	テーマ	講師	受講 者数
令和6年 2月9日	Setouchi-i-Base	ビジネスに役立つ知財塾	INPIT香川県知財総合	8名
令和6年 3月1日	Setouchi i base	【初心者編】&個別相談会	支援窓口相談担当者	6名

#### 8 知的財産活性化事業(県補)

6,908 千円

県内企業等の知的財産の創造・保護を促進するため、「香川県知的所有権センター」を設置・ 運営し、配置した知的財産権の活用を図る特許流通コーディネーターが、知的財産に関する 情報収集・提供を行うとともに、知的財産の活用を促進するため、県内企業等への相談や訪 問相談を行った。

項目	内容	実績
来訪者相談件数	特許流通に関する相談件数	262 件
訪問企業数	特許流通のために訪問した企業数	121 社

#### 9 知的財産活用促進事業(県補)

5.857 千円

県内企業等の知的財産の活用による競争力強化を促進するため、「香川県知的所有権センター」が、知的財産を活用した経営や新たな事業展開に取り組む県内企業等の経営者等を対象に、日本弁理士会と連携して、「かがわ知財経営塾」をワークショップ形式で3回開催するなど、きめ細かな支援を行うとともに、大企業等が保有する開放特許の活用を通じて、県内企業の新商品開発や新たな事業展開を促進するため、「知財マッチング in かがわ 2023」を開催し、大企業等と県内企業との知財マッチングの機会を提供した。

#### (1) かがわ知財経営塾

	開催日	開催場所	テーマ	講師	受講者数
第1回	令和5年 9月14日	香川産業	製品開発における知財 を活用した営業戦略、知 財戦略の注意すべき盲 点	松島国際特許事務所 松島 理 氏	12名
第2回	令和5年 9月21日	頭脳化セ ンタービ ル 2階 一般研修	様々な業種における知 財を活用した製品開発 の成功例	弁理士法人山内特許事務所 山内 康伸 氏	18名
第3回	令和5年 10月5日	室	利益向上に繋がるオー プンイノベーションの 活用	松島国際特許事務所 松島 理 氏	16名

#### (2) 知財マッチング

開催日:令和5年11月16日~12月20日(期間外も随時実施) 開催場所:香川産業頭脳化センタービル 2階 一般研修室他 開催方法:個別面談及びWeb 面談 面談企業・件数:大企業等10社、県内企業13社 面談件数38件

#### 10 中小企業等外国出願支援事業(国補)

7,886 千円

中小企業等における戦略的な外国への特許出願等を促進するため、県内中小企業等を対象に、令和5年5月~11月の間に3回募集し、9社、10件(特許6件、商標4件)に対して、外国への特許出願等に要する費用の一部を助成した。

#### 11 プロフェッショナル人材戦略拠点事業(県委)

34.772 千円

県から委託を受け、プロフェッショナル人材(新たな商品、サービスの開発等、企業の成長戦略を具現化していく人材)の地方還流を促すために設置した「プロフェッショナル人材戦略拠点」において、戦略マネージャー1名と複数のサブマネージャー及びアシスタントを配置し、地域の金融機関等と連携しつつ、県内中堅・中小企業等におけるプロフェッショナル人材のニーズを把握し、企業の成長戦略を支援した。また、副業・兼業等の多様な人材の活用促進に取り組むとともに、啓発セミナーの開催等を行った。

○プロフェッショナル人材成約件数 121件(令和4年度成約件数 143件)

#### 12 経済研究情報事業(県補他)

9,729 千円

インターネットや情報誌等を活用した産業情報の提供を行ったほか、県内中小企業等の情報化を支援するための情報化相談事業、人材育成のための新入社員研修・若手社員フォローアップ研修を実施した。

#### (1) 経済研究情報提供事業

県内企業等の経営資源の充実を図るため、経営・産業関連情報の収集を行い、財団の支援施策の情報と併せて、ホームページ、Facebook、メールマガジン、情報誌等を活用し、タイムリーで効果的な情報発信を行った。また、財団ネットワーク環境を適切に維持管理し、新たにサイバー保険に加入する等、セキュリティ強化の対策を行った。

情報提供媒体等	回数
財団ホームページ、Facebook、メールマガジンによる 情報発信	常時
情報誌「かがわ産業情報 21」の発行	4回
ビジネス香川 (かがわのエンジン・B K ラジオ) による財団支援内容の紹介	かがわのエンジン: 4回 B K ラジオ: 20 秒 C M/年 85 回

#### (2)情報化基盤整備促進事業

県内中小企業等の情報化に向けた取り組みを支援するため、情報化に関する相談事業を 実施した。

内容	件数
情報化相談事業	16 件

#### (3) 講習会開催事業

県内企業等の人材育成を支援するため、新入社員研修及び若手社員フォローアップ研修 を実施した。

講習会名	開催日	参加人数
新入社員研修	令和5年4月4日~5日	64名
若手社員フォローアップ研修	令和5年11月14日	13名

#### 13 中小企業後継者育成事業

1,972 千円

県内中小企業の経営者や後継者の育成を目的に、中小企業大学校が実施する各種研修や香川大学大学院地域マネジメント研究科に派遣する際に必要な経費の一部を助成した。

区分	件数	金額
中小企業大学校派遣研修事業	5件	856 千円
香川大学大学院地域マネジメント研究科派遣研修事業	1件	268 千円

#### 14 国助成設備貸与債権管理事業

15, 221 千円

過年度貸与(割賦販売及びリース)の回収業務等を行った。

### Ⅱ 産業技術の高度化及び科学技術の振興のための支援事業

#### 1 高度技術開発振興事業

9,779 千円

#### (1) 研修会等開催支援事業

県内産業の技術の高度化を図るため、学術研究支援や人材・能力育成支援を実施した。 学会助成については、2件(国際学会)の申請があり、学会開催に要する経費を助成した。

また、科学体験フェスティバルは分担金の拠出や当日の運営支援により、開催を支援した。

区分	開催回数	参加者数
学術研究会の開催支援 ・香川大学 国際希少糖研究教育機構 (Rare Sugar Congress 2023) ・徳島文理大学 理工学部 (International Symposium on Imaging, Sensing, and Optical Memory 2023)	2回	314名
第31回かがわけん科学体験フェスティバル (主催:かがわけん科学体験フェスティバル実行委員会等)	1回	2,811名

<sup>※</sup>学術研究会の参加者数には、オンラインによる参加者を含む。

#### (2) 商品化技術テーマ調査事業

県内企業等が、商品化のための技術テーマを大学・公設試等と連携して調査・開発する ために必要な調査研究費等を助成した。

#### 令和5年度採択分【新規3件、助成額2,726千円】

事業者	テーマ	大学・公設試等
株式会社アムロン	鋳物関連工場由来のダストに含 まれる重金属類安定化およびブ ロック化に関する研究	香川大学 創造工学部
大倉工業株式会社	オリーブ成分抽出残渣の農業利 用の可能性調査	公益財団法人かがわ産業支援財団 地域共同研究部
株式会社桜製作所	熟練職人の技術を置換するため の木製椅子製造における図面の デジタル化およびNC工作機械 活用による生産性向上への研究 開発	香川大学 創造工学部

(令和4年度採択分2件、1,434千円)

#### (3) 芦原研究支援事業

本県出身の故芦原義重氏(関西電力株式会社名誉会長、香川県名誉県民)からの寄附金による基金を活用して創設した芦原科学賞により、県内産業の技術の高度化及び産業振興に寄与するため、自然科学系分野において優秀な研究成果をあげた研究グループや個人の顕彰(大賞、功労賞)並びに優秀な成果をあげることが期待できる研究グループや個人の顕彰(奨励賞)を行った。

区分		内容等		
	大賞 (賞状・楯・賞金 200 万円)	受賞者:四国化成工業株式会社 熊野 岳 氏、松田 晃和 氏、武田 琢磨 氏、 奥村 尚登 氏、藤川 和之 氏、青木 和徳 氏、 荒井 利将 氏 テーマ:スマートフォン・半導体機器の高機能化に貢献 する新規樹脂硬化剤の開発		
第31回 芦原科学賞	功労賞 (賞状・楯・賞金 100万円)	受賞者:株式会社未来機械 三宅 徹 氏、森田 和郎 氏、島崎 朋浩 氏、吉村 基 氏、藤堂 卓也 氏、土井 一三 氏、廣瀬 修治 氏 テーマ:中東の砂漠で働くソーラーパネル清掃ロボットの開発		
	奨励賞 (賞状・楯・賞金 50万円)	受賞者:建ロボテック株式会社 眞部 達也 氏 テーマ:鉄筋結束用省人・省力化ロボット「トモロボ」の 研究開発		

#### (4) 地域技術事業化推進事業

【香川大学大学院地域マネジメント研究科との連携】

地域を担う若手人材を育成することを目的に、企業経営等の第一線で活躍している講師 による講座を香川大学大学院地域マネジメント研究科 (MBA) に提供した。

では、3時程で自用人子人子が地域、インデン「朝九石(MDII)で展展した。		
名称	内容等	
提供講座 「地域の中小企業と 経済活性化」	<ul> <li>○開催日時 令和5年10月3日~令和6年2月6日 18時20分~19時50分(毎週火曜日、全15回)</li> <li>○開催場所 香川大学総合教育棟講義室等</li> <li>○開催内容 提供講座の開設(中小企業経営者等による全15回の講義)</li> <li>○参加者数 学生、一般聴講者等合わせ延べ426名が参加</li> </ul>	

#### 2 債務保証債権管理事業等

1千円

研究開発型企業が新技術・新製品の開発及び事業化を行うに際し必要とする資金の円滑な借入れを支援するため、無担保の債務保証を行う事業であり、平成28年度までの債務保証事業において代位弁済を執行した案件で、求償権を有する案件2件の継続管理を行った。

#### 【成長型中小企業等研究開発支援事業 (Go-Tech 事業)】

特定ものづくり基盤技術 (バイオ、情報処理、精密加工、機械制御等 12 分野) 及び I o T、A I 等の先端技術を活用した高度なサービスに関する研究開発や試作品開発等の取組みを支援するため、事業管理機関として令和 4 年度採択事業 1 件、令和 5 年度第 1 回公募採択事業 1 件、第 2 回公募採択事業 1 件について、経済産業省から補助金を受けて進捗管理等を行った。

#### ○令和4年度採択事業(研究開発2年目の事業)

テーマ	期間	研究機関	補助金額
海底・地中電力ケーブル牽引用の 低摩耗型複合スーパー繊維ロープ の開発	令和4年11月~ 令和7年3月	高木綱業株式会社 香川県産業技術セ ンター	43, 100 千円 (令和5年度分)

#### ○令和5年度第1回公募採択事業(研究開発1年目の事業)

テーマ	期間	研究機関	補助金額
脳波とバイタルサインの無線同期 計測により脳波活用を革新するウ ェアラブル脳波計測技術の開発	令和5年8月~ 令和7年3月	株式会社レクザム PGV株式会社 大阪大学	36,600 千円 (令和5年度分)

#### ○令和5年度第2回公募採択事業(研究開発1年目の事業)

テーマ	期間	研究機関	補助金額
素キャリアとした革新的 及び液化炭酸ガス連続供 開発	令和5年10月~ 令和8年3月	高松帝酸株式会社 産業技術総合研究 所	8,900 千円 (令和5年度分)

#### 4 地域共同研究開発事業(県補他)

#### 60.564 千円

県内企業等と連携して、研究開発事業(開発可能性調査研究型プロジェクト、技術指導実験、県内産業育成支援のための調査研究、企業訪問等による技術指導、機関誌等による研究成果等の情報提供)に取り組んだ。

また、県内の食品産業を支援するため「かがわ機能性食品等開発研究会」及び「かがわ冷凍食品研究フォーラム」によるシンポジウムを開催するとともに、財団に設置している新機能性表示食品開発相談センターによる機能性表示食品制度に関する相談・指導を実施した。

さらに、財団が保有する研究設備や機器の一般開放等により、県内企業等の事業化・商品 化の支援を行った。

#### (1) 研究開発事業

#### ① 企業支援研究事業

食の安全・安心、環境保全、CNF、電池電極など社会的課題・ニーズを踏まえたテーマを中心に、共同開発研究、開発可能性調査研究、技術指導実験を推進した。

種別	内容	令和5年度実施件数
開発可能性調査研究 (FS研究)	県内企業等が新たな研究開発を 実施する前にその可能性を調査 するプロジェクト	1件 (県内1企業)
技術指導実験	本格研究に進む前の技術指導に 伴うアタリ実験	0件

#### ② 調査研究事業

県内産業育成支援のため、RISTかがわが保有する技術を活用した調査研究を実施した。

事業名		内容・結果
超臨界流体	1 超臨界技術によるプラスチック材料への機能性付与に関する研究(IV)ーセルロース混合ポリエチレンの強度に及ぼす混練条件の影響ー	超臨界炭酸ガス処理により得られたアセチル化CMFのフィルムや部材への利用をめざしている。今年度は、環境への樹脂の流出削減をめざし、CMFによる樹脂の代替を検討した。ポリエチレン(PE)の51%をCMFで代替した材料に、相容化剤を添加することにより、高強度で色差が少なく、ばらつきの少ない複合材を作製することができた。
技術応用研究	2 加圧熱水反応・抽出による食品成分の抽出利用技術に関する研究ーオリーブ圧搾滓からの総ポリフェノール,ヒドロキシチロソール,及びチロソールの抽出ー	(1) オリーブ圧搾滓からの抗酸化性物質の加圧 熱水抽出処理を行った。500mlから3.2 Lにスケールアップして抽出量と回収率の再現性を検討したところ、240℃、30分処理が最適条件で、前回と同様な結果になった。 (2) 加圧熱水処理残渣を用いた素材開発のため、コマツナ栽培試験を行った。今回の条件では、処理残渣がコマツナの生育を抑制した。
マイクロ波 (MW)技術 応用研究	MW照射処理による水産 加工品の高品質化製品開 発支援	(1) MW照射による焼き魚風食品の開発 昨年度の成果について、共同開発している県内 企業との共同特許出願をした。現在、県内企業が この特許技術を用いた冷凍食品の販売を計画し ている。 (2) MW照射処理と既存技術を融合した魚骨脆 弱化製品の開発 当該製品は、魚骨による危害の防止とカルシウ ム摂取食品として付加価値化をめざしている。本 研究では、アジとイワシを対象に、米酢、二杯酢、 三杯酢に浸漬処理後、MW照射による加熱調理に よる脆弱化を試みた。イワシ開きを酸浸漬後、マ イクロ波調理することで、二杯酢、三杯酢を用い たサンプルで脆弱化が期待できた。

#### ③ 産業財産権

令和 5 年度では 1 件を特許出願し、 2 件が特許登録され、登録特許は 5 件となった。これまでの特許出願等の状況は次のとおりである。

①出願件数	②特許登録数	③権利放棄数	登録特許保有数(②-③)
104 (1)	40件(2)	35件(0)	5件

※()内は令和5年度の件数

#### ④ 研究成果の情報提供

ア 部外発表 1件

発表会名:令和5年度香川県産業技術センター研究成果発表会

発表日:令和5年6月16日 場所:香川県産業技術センター 発表者:1名(中西主席研究員)

イ 技術雑誌掲載 1件(中西主席研究員)

中西 勉, "解説: 超臨界二酸化炭素による有機高分子材料への機能性付与", クリーン テクノロジー"令和5年10月号、23-27 (2023)

ウ研究報告等の発行

令和4年度地域共同研究部年報(令和5年6月30日) 地域共同研究部ニュースレター64号(令和5年11月30日)

#### (2)機能性食品開発支援事業

① かがわ機能性食品等開発研究会による支援 かがわ機能性食品等開発研究会の事業として、第 11 回シンポジウムを開催し、機能

性食品等に係る県内企業等の研究開発や商品開発の取組みを支援した。

性食品等(	性食品等に係る県内企業等の研究開発や商品開発の取組みを支援した。		
区分	内容等		
	【日 時】令和5年9月7日 13時30分~16時30分 【場 所】香川産業頭脳化センタービル 2階 一般研修室 【参加者】43名		
	講演 【演題】農産物等に存在するカロテノイド類の機能性と代謝 【講師】国立大学法人 香川大学農学部 教授 米倉 リナ 氏		
	情報提供1 【演 題】アクティボディRB(HMPA)及び丸善の機能性表示食品対応素材について 【発表者】丸善製薬株式会社 営業本部 食品営業部		
かがわ機能 性食品等開 発研究会 第11回シン ポジウム	大阪食品営業課 チーフ 湯宮 健 氏 情報提供2 【演 題】加圧熱水反応・抽出によるオリーブ果実圧搾滓からの総ポリフェ ノール、ヒドロキシチロソール等の抽出 【発表者】公益財団法人かがわ産業支援財団 地域共同研究部 主席研究員 中西 勉 氏		
	事例発表 1 【演 題】加圧熱水抽出によるオリーブ剪定葉からのヒドロキシチロソール 含有エキスの開発 【発表者】大倉工業株式会社 R&Dセンター 環境・エネルギー開発部 アグリテック開発課長 加藤 尚士 氏		
	事例発表 2 【演 題】機能性表示食品『あらん』(ルテイン含有生卵)の開発・販売戦略 【発表者】有限会社高島産業 代表取締役社長 高嶋 浩司 氏		

#### ② 機能性表示食品届出支援

平成27年6月に設置した新機能性表示食品開発相談センターでは、消費者庁への機能性表示食品届出について、令和4年度では届出書類作成等支援業務を12社14件受託し、7件が届け出完了である。また、機能性表示食品開発・届出に関する相談業務(令和5年度相談件数:239件)も行っている。

令和5年度は届出書類作成等支援業務の契約を4件(4社)受託し、現在支援中である。

これにより、県内企業の届出完了数は今回の届出を含めて53件となり、うち31件は当財団が支援した。

#### (3) 冷凍食品産業支援事業

かがわ冷凍食品研究フォーラムの事業として、第11回シンポジウムを開催し、県内の冷 凍食品を製造する企業等の研究開発や商品開発の取り組みを支援した。

(現食品を製造する企業等の研究開発や問品開発の取り組みを文援した。		
区分	内容等	
	【日 時】令和5年11月14日 13時30分~16時00分 【場 所】ネクスト香川 3階 大会議室 【参加者】48名	
	講 演 【演 題】冷凍食品におけるトレンドと商品開発手法について 【講 師】ベフロティ株式会社 代表取締役 西川 剛史 氏	
かがわ冷凍食品 研究フォーラム 第 11 回シンポジ ウム	話題提供 【演 題】オリーブ葉処理がマイワシの冷凍保存に及ぼす効果の検討 【発表者】香川県産業技術センター 食品研究所 主任研究員 松岡 博美 氏	
	事例発表 1 【演 題】B to Bビジネスにおける商品開発について 【発表者】八幡食品株式会社 代表取締役 村山 壯徳 氏	
	事例発表 2 【演 題】冷凍スイーツの美味しさの探求 【発表者】株式会社スミダ・リ・オリジン 代表取締役 住田 俊二 氏	

#### (4) 商品化·事業化促進事業

研究開発・技術開発終了後、実用化の段階にある県内企業等に対して、研究者による技 術移転とともに、食品加工の専門家によるサポートを実施した。

#### (5) 研究設備・機器の一般開放

高温高圧流体技術やマイクロ波技術に関する装置、物性測定装置及び分析装置などの研究機器を県内企業等に開放した。(令和5年度利用件数:13件)

開放機器の老朽化により測定の精度保証ができないことから、令和5年10月31日をもって、機器開放利用事業を終了した。

#### 5 新技術啓発事業(県補)

1,274 千円

世界的な水準にある希少糖研究等の先端技術分野における優れた研究成果やノウハウ等を活かし、県内企業等の成長分野等への積極的な進出を促進するため、各種フォーラムの管理 運営を行った。

#### (1) 糖質バイオ事業化支援事業

産学官連携アドバイザー1名を配置し、香川県希少糖等共創推進会議の委員及び食品・健康部会長として、希少糖事業の調整とともに、かがわ糖質バイオフォーラムの運営の指導・助言を行った。

#### (2) かがわ糖質バイオフォーラム運営支援事業

糖質バイオ分野における研究成果の情報発信や研究者のネットワークの形成等を図るため、かがわ糖質バイオフォーラムを運営し、第15回シンポジウムの開催や情報提供等を行った。

#### かがわ糖質バイオフォーラム

設 立: 平成 20 年 12 月 1 日

会 長:香川大学名誉教授 田島 茂行 氏

会員数:法人会員44、個人会員19、賛助会員9 計72

区分	内容等
かがわ糖質バイオ フォーラム 第 15 回シンポジ ウム	<ul> <li>・開催日時 令和5年10月27日 13時~16時</li> <li>・開催場所 かがわ国際会議場</li> <li>・開催内容 来賓挨拶</li> <li>香川県知事 池田 豊人 氏 国立大学法人香川大学長 上田 夏生 氏第1部 特別講演 「ここまできました ~糖質研究から事業化に向けた 取組み~」 株式会社伏見製薬所 代表取締役社長 伏見 豊 氏第2部 事例発表 株式会社スミダ・リ・オリジン 代表取締役 住田 俊二 氏 一般社団法人つなぎまい YO プロジェクトリーダー 中村 隆一郎 氏株式会社ルーヴ 代表取締役社長 野﨑 幸三 氏パネル等展示の観覧、交流</li> <li>・参加者数 73名</li> </ul>

(3) 微細構造デバイス研究開発フォーラム運営支援事業 微細構造デバイス研究開発フォーラムの運営、セミナーの開催等を行った。

微細構造デバイス研究開発フォーラム

設 立: 平成17年4月1日

会 長:香川大学名誉教授 大平 文和 氏

会員数:法人会員19、個人会員13、賛助会員4 計36

区分	内容等
	<ul><li>・開催日時 令和5年12月4日 13時30分~17時</li></ul>
	・開催場所 香川産業頭脳化センタービル 2階 一般研修室
	(※オンラインでの同時配信を実施。)
	・開催内容
	講演①「産学官連携事業を通じて得られるものは何か?~イノベ
	ーション、人材育成、人材確保~」
微細構造デバイ	経済産業省四国経済産業局
ス研究開発フォ	地域経済部長 熊野 哲也 氏
ーラム	講演②「香川大学における地域企業との産学連携の好事例、その
令和5年度セミ	魅力」
ナー	香川大学 産学連携・知的財産センター
	センター長・教授 永冨 太一 氏
	講演③「マイクロデバイス分野の産学連携 ~MEMS開発、人
	材育成を中心とした事例紹介~」
	東北大学マイクロシステム融合研究開発センター
	センター長・教授 戸津 健太郎 氏
	・参加者数 55 名 (一般会場 33 名、オンライン配信 22 名)

#### (4) 医療・ヘルスケア産業関連情報提供事業

旧かがわ健康関連製品フォーラム会員企業等に対し、メールマガジンを活用した医療・ ヘルスケア産業関連の情報提供を行った。

# Ⅲ 下請中小企業の振興のための事業

# 1 下請企業振興対策事業(県補他)

20,817 千円

- Jane 1	20,81/千円		
事業名	内容等	件数等	
	【下請取引のあっせん】	204 件	
	受発注取引を希望する登録企業の取引あっせんを行った。	11	
	【取引情報の収集提供】		
	専門調査員等が登録企業を訪問し、受発注情報や企業情報等の	358 件	
	収集・提供を行った。		
	【共同受注推進会議の開催】		
	①異業種共同受注グループ「福友会」を対象とした工場見学を		
	開催した。		
	開催日 令和5年10月25日		
受発注情報	開催場所 竜王金属株式会社 坂出工場	2回	
等収集提供	参加者数 22 名	- [	
事業	②香川県縫製品工業協同組合を対象とした講習会を開催した。		
. , , ,	開催日 令和6年1月26日		
	開催場所 オークラホテル丸亀		
	参加者数 13名		
	【発注開拓促進会議の開催】		
	下請企業が必要とする発注情報を収集し、受注の安定を図るた		
	めの情報交換会を開催した。	, I	
	開催日 令和6年3月19日	1 回	
	開催場所 香川産業頭脳化センタービル 1階		
	第1会議室		
	参加者数 11名		
下請かけこ	公益財団法人全国中小企業振興機関協会の実施する「下請かけ」		
み寺事業	こみ寺事業」の地域拠点として、下請取引に関する様々な相談に 対応した(弁護士無料相談含む)。	92 件	
	【広域商談会の開催】	2 回	
	①四国4県合同で広域商談会を開催した。		
	・「四国モノづくり合同商談会 2023 in KOCHI(合同広域商談		
	会)」		
	開催日時 令和5年12月8日 10時~17時		
	開催場所 高知ぢばさんセンター(高知県)		
	参加者数 発注企業 38 社		
	県内受注企業 23 社 (4 県合計 100 社)		
商談会等開	②近畿・四国合同で広域商談会をオンライン・対面式併用のハ		
個歌云寺所 催事業	る近畿・四国市内 C 広域間 成 云 で カ イ ブ リッド 方式 に て 開催 した。		
惟事未	・「令和5年度 関西・四国合同広域商談会」		
	開催日 ①令和6年2月1日~2日、5日~8日		
	(オンライン商談会)		
	②令和6年2月15日~16日		
	(対面式商談会)		
	幹事県京都府		
	参加者数 県内受注企業 5 社		

<ul><li>①キングパーツ株式会社(広島県)</li><li>・開催日 令和5年9月8日</li><li>・参加者数 県内受注企業3社</li><li>②住友重機械搬送システム株式会社(愛媛県)</li></ul>	
・参加者数 県内受注企業3社	
②住友重機械搬送システム株式会社(愛媛県)	
・開催日 令和6年1月30日	
・参加者数 県内受注企業5社	
【大手企業との展示商談会の開催】	1回
県内中小企業等が有する優れたものづくり技術・製品等をPR	
するため、県外大手メーカーに対して一堂に展示し、商談会を通	
じて県内中小企業等の新規取引先の開拓と受注機会の拡大を図	
った。	
・開催日時 令和6年3月1日 11時~14時	
• 開催場所 株式会社神戸製鋼所 神戸総合技術研究所	
4号館1階アリーナ	
・参加者数 県内企業 18 社+香川県産業技術センター 商談会等開 ・ 本担者教 929 名	
筒吹云寺所   ・来場者数 238 名     催事業	
【有力な展示商談会(機械要素技術展)への共同出展支援】 「第 28 回機械要素技術展」(東京ビッグサイト)に出展し、か がわ次世代ものづくり研究会会員である県内中小企業 10 社によ る香川県ブースを出展した。 ・開催日 令和 5 年 6 月 21 日~23 日 ・出展企業 10 社	1回
【有力な展示商談会(関西機械要素技術展)への共同出展支援】 「第 26 回関西機械要素技術展」(インテックス大阪) に出展し、 かがわ次世代ものづくり研究会会員である県内中小企業7社に よる香川県ブースを出展した。 ・開催日 令和5年10月4日~6日 ・出展企業 7社	1 回
【水素関連見本市出展支援】 「第 15 回国際二次電池展(BATTERY JAPAN)」(幕張メッセ)に 出展し、県内のエネルギー関連分野企業を対象に香川県ブースと して集団展示を行った。	1回
・開催日 令和5年9月13日~15日 ・出展企業 4社	

# ☑ 創業支援、ベンチャー企業育成、産業の高度化、産学官共同研究の推進等のための施設の管理・運営事業

#### 1 頭脳化センター施設提供事業(県補他)

133,966 千円

香川産業頭脳化センタービルの貸室は、創業しようとする者や創業間もない者が入居できる「インキュベータルーム」及び地域産業の高度化に寄与すると認められる企業等が入居できる「リサーチルーム」からなっており、その入居については「香川産業頭脳化センタービル入居者選考委員会」において審議するなど、適切な運営に努めた。

名称	貸室数	入居状況
インキュベータルーム	oc 🕏	7室
リサーチルーム	36 室	28 室

<sup>※</sup> 入居者によって「インキュベータルーム」、「リサーチルーム」の区分が変わる。

#### 2 IT関連インキュベート施設管理運営事業(県補)

#### 6,025 千円

I Tを活用し新事業に取り組む起業者(ネットベンチャー)等を支援するため、高速通信回線が整備された部屋を低料金で利用できるインキュベート施設「I Tスクエア」を香川県の補助を受けて運営した。

名称	貸室数	入居状況
ITスクエア	11 室	6室

#### 3 県有施設管理運営事業(県委)

#### 91, 200 千円

県内産業の振興を図ることを目的として企業等の技術の高度化や新分野進出を支援するためのインキュベート工房や電波暗室を設けた県有施設の「香川県新規産業創出支援センター(ネクスト香川)」及び先端技術産業分野の研究開発を産学官で行うための拠点施設「香川県科学技術研究センター(FROM香川)」について、県から指定管理者の指定を受け、管理運営を行った(指定期間は令和3年度から5年間)。

#### (1) ネクスト香川及びFROM香川入居条件等

#### • ネクスト香川

区分	インキュベート工房(一般型)	インキュベート工房(情報通信型)
入居者	創業又は新事業の開拓を目的として新技術等の研究開発を行う者であって、その利用を開始する時点において、次のいずれかに該当する者 ①新たに事業を営もうとする者 ②新たに事業を営んだ日以後5年を経過していない者 ③事業の多角化、事業の転換等により新たな事業の分野へ進出しようとする者 ④産業振興に資するものとして知事が認める者	情報処理関連事業(※)を行う者で、以下のいずれかに該当する者・創業後5年以内または新事業へ進出しようとする者・県外から香川県内に新たに拠点を設けようとする者 (※)情報処理サービス業、ソフトウエア業、映像・音声・文字情報制作業、デザイン業及びインターネット附随サービス業
規模	大(120~140 ㎡クラス) 4 室 小(65 ㎡クラス) 6 室	大 (30 ㎡クラス) 2室 小 (15 ㎡クラス) 2室
入居状況	大3室 小4室	大2室 小1室
利用料金	入居から5年まで 月額1,560円/㎡(消費税を含む) 入居から5年経過後 月額1,870円/㎡(消費税を含む)	月額 1, 560 円/㎡(消費税を含む)
入居期間	3年間(最長5年まで延長が可能) ただし知事が別に定める事業の分野に 属する場合等は、最長13年まで延長可 能。 (特定事業分野:地域資源や伝統技術 を活用した特長のある食品・バイオ関 連分野、健康関連分野、先端技術や基 盤技術を活用したものづくり分野、エ ネルギー・環境関連分野)	3年間(最長5年まで延長が可能)

# ·研究室等(FROM香川)

- Tron	- 1 / 1/		
区分	メカトロ研究室、バイオ研究室、一般研究室、産学官連携推進室		
入居者	・産学官共同研究を行うグループで、産学官を2以上含み、うち1以上が県内で主たる研究開発を行うもの ・産学官共同研究のうち、基礎研究の成果を実用化に結びつけるための研究開発を行う企業 ・産学官連携推進事業を行う法人		
規模	メカトロ研究室1室バイオ研究室1室一般研究室5室(各室3分割可能)産学官連携推進室		
入居状況	メカトロ研究室1 グループバイオ研究室1 グループ一般研究室8 グループ (12 室)産学官連携推進室1 グループ		
利用料金	<ul> <li>・産学官共同研究グループ 無料</li> <li>・実用化研究企業月額 2,610 円/㎡(消費税を含む)         (月額 1,560 円/㎡(消費税を含む)に減額される場合あり)</li> <li>・産学官連携推進事業を行う法人 無料</li> </ul>		
入居期間	3年間(最長5年まで延長が可能) ただし一定の要件に該当する場合は最長10年まで延長可能。		

# ○ネクスト香川インキュベート工房(一般型)入居状況(10室中6室入居)

部屋番号	入居企業名	事業概要	入居年月日
201	合同会社 Setolabo	がん毎に発生するマイクロ RNA (miRNA) を 検出することによるがんの超早期発見	令和6年 2月26日
204	株式会社総合開発	水質・土壌浄化技術の研究開発	平成 29 年 7月1日
205	株式会社 Soilook	赤外線カメラやドローンなどを応用した インフラ維持管理システムの開発	令和2年 1月1日
301	自然免疫制御技術 研究組合	動物実験による健康食品産業の支援	平成 29 年 2月1日
302			
303	メロディ・インタ ーナショナル株式 会社	K-MIX と連携する胎児心拍計、遠隔医療システム、健康生活アプリの開発	平成 27 年 9月1日
304			

# ○ネクスト香川インキュベート工房(情報通信型)入居状況(4室中3室入居)

部屋番号	入居企業名	事業概要	入居年月日
20 A	株式会社ライトリ	PC-PLC間インタフェースサーバ開発、	令和3年
	ンク	画像処理検査システムの開発	6月1日
20 B	株式会社アイテッ	介護事業所・保健指導実施機関・医療機関	令和4年
	クス	等向けシステムの開発・販売・サポートなど	7月18日
20 D	エムケイディ合同 会社	医療・介護用等のためのアプリ・Web システム開発	令和2年 11月1日

## ○FROM香川一般研究室等入居状況(19 室中 16 室入居)

研究室名	研究グループ名 (研究代表/使用責任者)	研究テーマ	入居研究機関	入居年月日
メカトロ 研究室	マイクロ加工研究 グループ (香川大学 高尾英邦 /寺尾京平)	DX化による知の 協創を目指した マイクロデバイ スの共同開発研 究	香川大学微細構造デバイス総合研究センター、 創造工学部、医学部、農 学部 京都大学 岡山県立大学 香川高等専門学校 徳島大学 アオイ電子株式会社 株式会社レクザム 四国化成工業株式会社 産業技術総合研究所	令和5年 10月1日
バイオ 研究室	低分子糖脂質研究開 発グループ (自然免疫制御技術 研究組合 杣源一郎 /稲川裕之)	健康・長寿を志向 した低分子糖脂 質製造法の開発 と応用	自然免疫制御技術研究 組合 香川大学農学部 徳島文理大学 新潟大学研究 自然免疫応用技研株式 会社 特定非営利活動法人自 然免疫ネットワーク	令和5年 8月1日
一 般 研究室 (1 a)	新規糖加水分解酵素 開発グループ (香川大学 中北慎一	新規糖加水分解 酵素の研究開発	香川大学医学部総合生 命科学講座 九州大学大学院農学研	令和5年 9月1日
一 般 研究室 (1 b)	/株式会社伏見製薬 所 住吉渉)	- H1 MK * \ M1 \ THM1\ \ \ \ \ \ \ \ \ M1 \ \ \ \ \ \ \ \ \	究院 株式会社伏見製薬所	0/1 T H
一 般 研究室 (1 c)	A I ロボット共同研究グループ (株式会社未来機械 三宅徹 /森田和郎)	A I を活用した ロバスト性の高 い自律制御ロボ ットの研究開発	香川大学創造工学部 株式会社未来機械 香川高等専門学校	令和3年 7月1日

一 般 研究室 (2c)	脳梗塞予防ネットワークシステム企画開発グループ(香川大学 原量宏/同上)	心房細動(AF) スクリーニング システムの研究 開発	香川大学瀬戸内圏研究 センター 香川大学医学部 香川大学医学部附属病 院 NPO法人e-HCIK メロディ・インターナ ショナル株式会社	令和元年 9月1日
一 般 研究(3 a) 一 研究(3 b) 一 研究(3 c)	糖鎖構造解析キット 開発グループ (香川大学 中北慎一 /株式会社伏見製薬 所 住吉渉)	糖鎖構造解析キットの開発	香川大学医学部総合生 命科学講座 株式会社伏見製薬所	令和5年 3月1日
一 般 研究室 (4 b) 一 般 研究室 (4 c)	自動検査ロボット共 同研究グループ (株式会社未来機械 三宅徹/同上)	2次元最適施肥 量算出を目指し たリアルタイム 自動検査ロボッ トの研究開発	香川大学創造工学部 香川大学医学部 株式会社未来機械	平成 31 年 4月1日
一 般 研究室 (5 a)	海苔成分の生理機能 開発共同研究グループ (有限会社シーバイオン 岡崎勝一郎/ 株式会社ハマダフードシステム 蓮井昌彦)	海苔成分の生理 機能開発	香川大学農学部 有限会社シーバイオン 株式会社ハマダフード システム	令和3年 4月1日
一 般 研究室 (5b)	天然物質によるウイ ルス制御共同研究グ ループ (香川大学 桑原知巳 /小山一)	天然物由来抗ウ イルス物質の探 索とその実用化 に向けた研究	香川大学医学部 富士産業株式会社 和歌山県立医科大学看 護学部	令和4年 4月1日
一 般 研究室 (5 c)	COVID-19 等新興・ 再興感染症に関する 開発研究グループ (株式会社バキュロ テクノロジーズ 馬 嶋景/同上)	COVID-19 等の 新興感染症の再 が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	株式会社バキュロテク ノロジーズ 山口大学農学部 有限会社根路銘生物資 源研究所 岡山理科大学獣医学部	令和3年 4月1日
産学官連 携推進室 (応接室 を含む)	公益財団法人かがわ 産業支援財団 (理事 長 近藤清志/技術 振興部長 窪田健康)	研究開発支援及 び産学官連携推 進にかかる事業 推進	_	平成 24 年 4月1日

## (2) FROM香川共同機器室及びバイオ関連共同実験室 利用状況

· 共同機器室: 74 件

・バイオ関連共同実験室: 3件

#### (3) ネクスト香川EMC総合試験施設管理運営

EMC総合試験施設使用状況 稼働率:96.2%

区分  利用企業数		利用時間(実日数)		
区分	利用证未数	大型電波暗室	小型電波暗室	
県内企業	7社	154 時間 (22 日)	653 時間 (89 日)	
県外企業	25 社	1,488 時間(188 日)	622 時間 (88 日)	
合計	32 社	1,642 時間(210 日)	1,275 時間(177 日)	

#### (4) かがわEMC技術研究会事業

区分	内容等
EMC研究会	会場及びオンラインのハイブリッド開催 ○ 開催日時 令和5年6月23日 13時30分~16時20分 ○ 開催場所 香川産業頭脳化センタービル 2階 一般研修室 ○ テーマ等 ・令和4年度事業報告ならびに令和5年度事業計画 ・講演「電気と電線月ウサギから始まるEMIの理解」 岡山大学名誉教授 古賀 隆治 氏(かがわEMC技術研究会会長) ・講演「EMC試験のための簡易シールドテント」 富山ビルデイング株式会社 柴田 学 氏 ・講演「ノイズ対策におけるフェライトコアの特徴と使い方」 北川工業株式会社 島倉 壮志 氏 ○ 参加者数(会員他) 92名(会場参加40名、オンライン参加52名)
EMC講習会	会場及びオンラインのハイブリッド開催

# <u>V</u> 新かがわ中小企業応援基金等を活用した新産業の創出、地域産業の革新等のための支援事業

#### 新かがわ中小企業応援ファンド等事業(県補他)

125,034 千円

独立行政法人中小企業基盤整備機構、香川県、金融機関及び当財団が資金を拠出した総額 118.5億円の「新かがわ中小企業応援ファンド」などを活用して、県内中小企業等の新事業展開 や研究開発、販路開拓、人材育成等の取組みを支援した。

#### 1 助成事業の状況

(1) 令和5年度助成事業の募集期間令和4年12月9日~令和5年2月15日

#### (2) 事業件数

継 続【13 件、助成額 23,935 千円】 新規採択【52 件、助成額 48,718 千円】

区分	継続	令和5年度新規	
<b>上</b> 刀	<b>不</b> 体形式	申請件数	採択件数
① 新分野等チャレンジ支援事業	6	21	15
② 競争力強化研究開発支援事業	4	12	6
③ 新製品·新技術開発支援事業		15	4
④ 創業ベンチャー支援事業 (かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ枠)	_	1	1
⑤ 農商工連携支援事業	3	4	3
⑥ 地域資源ブランド化・販路拡大支援事業	_	11	6
⑦ 国内見本市出展・オンライン販路開拓支援事業		14	14
⑧ 海外見本市出展支援事業		3	3
合計	13	81	52

#### (3) 助成事業の詳細

#### ① 新分野等チャレンジ支援事業

県内中小企業等が取り組む新分野進出のための商品・技術開発や、市場性を見極める ための試作品作成、付加価値の高い新製品開発のための実証実験などに対して支援を行った。

ア 継続 【6件、助成額 3,352千円】

事業名	事業者
全粒粉うどん (小麦フスマ由来のアラビノキシラン) 機能性表示食品としての取組み	石丸製麺株式会社
食の持続可能なサプライチェーンを創造する為の、次世代型養殖技術の閉鎖循環式陸上システムユニットの実証実験及び成果検証	FGROW JAPAN 株式会社

機能性食品表示を有するマカロンの開発	株式会社スミダ・リ・ オリジン
オリーブの剪定枝葉を活用した紙製卵パックの開発	瀬戸内オリーブ園株 式会社
法律事務所向けクラウド事件カルテ クラウドバランス ~事務所 内のコミュニケーションストレスをなくす~	株式会社 FISTBUMP
機能性表示食品(GABA入り塩ゆで黒豆)の開発	丸金食品株式会社

# イ 新規採択 【15件、助成額 6,670千円】

事業名	事業者
鍋焼きうどんの冷凍商品化	株式会社川田製麺
電子レンジで焼きあがる「冷凍香川県産漬け魚」の開発と地域ブランド構築	株式会社キョーワ
国内初のアブラツノザメ・プロテオグリカン・TamaFlex <sup>™</sup> 含有機能性 表示食品	株式会社さぬき健康 本舗
海底熟成酒「鬼の隠し財宝」	株式会社ゼムス
琴平町特産「こんぴらにんにく」および丸亀市特産「香川本鷹」を使用した、大人のためのビール専用スナック菓子開発	株式会社地方創生
ルームシューズ対応パーツオーダーシステムの構築	徳武産業株式会社
革の端材を用いたアップサイクルブランドの展開について	合同会社 higoto
TV電話技術をベースとしたオンライン診療に利用できる Web 連携機能の開発	アイディオ株式会社
水圧式多目的段差解消機(水中リフト仕様)開発	株式会社ADSムラ カミ
「組込みAI画像処理ユニット」の商品化	株式会社エスシーエー
幼保育園向けの装飾パネル、パーソナルスペースの開発	株式会社グッドワー ク
にがりを使った香りを有する入浴剤の商品開発	仁尾興産株式会社
こんにゃく素材(マンナンミール)にオリーブ葉抽出エキス、希少糖 を添加した機能性表示食品の開発	ハイスキー食品工業 株式会社
   希少糖を含有させた冷凍弁当やレトルトカレーなどの新商品の開発	株式会社ボスコフー ドサービス
紙糸を使った紙袋用の組み紐タイプの丸紐(とって)の開発	松浦産業株式会社

### ② 競争力強化研究開発支援事業

県内中小企業等が取り組む付加価値の高い新製品の製品化や、新技術確立のための研究開発等に対して支援を行った。

#### ア 継続 【4件、助成額 18,321千円】

事業名	事業者
食品熱交換装置(X-Charge unit: XCU)の大型化及び連結仕様の開発	株式会社 XEN GROUP
農業分野向け I o T ソリューション(農業環境監視システム)の開発	株式会社 DynaxT
協働ロボットを活用した、可搬式筐体溶接システムの開発	奈良電機重工株式会 社
アトピー性皮膚炎に伴う皮膚の外観変化を改善する成分の開発	株式会社伏見製薬所

#### イ 新規採択 【6件、助成額 11,613千円】

事業名	事業者
使いやすく低価格な自動細胞分離装置の開発	株式会社日進機械
武道着クリーニングによる新たな市場開拓	株式会社白洋舎
服部水産新ブランド魚研究開発及びブランディング	服部水産有限会社
中小型動力用の非常用蓄電システム開発	バリオスター株式会 社
植物性生分解樹脂比率を高めた より自然環境に優しい害獣対策用 生分解テープの開発	松浦産業株式会社
新規形態安定加工技術を用いたアパレル製品の研究開発	株式会社ワイケーエ ス

#### ③ 新製品·新技術開発支援事業

県内中小企業等が取り組む実用化に繋がる新製品・新技術の開発等に対して支援を行った。

#### 新規採択 【4件、助成額 10,055千円】

事業名	事業者
新昇降式浴槽の開発(在宅介護者でも安心して入浴できる浴槽)	株式会社ヤエス
スマートTV向け、ビデオ通話用TVリモコンの研究開発	アイディオ株式会社
新たな自然素材(白甘藷、ニンニク)を活用した独自性の高い機能 性表示食品の開発	富士産業株式会社
香川県産大麦と希少糖アルロースを用いた機能性表示食品の開発	吉原食糧株式会社

#### ④ 創業ベンチャー支援事業

#### 【かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ 2022 最優秀賞認定事業】

創造的な技術や商品、サービスなどを自ら新規に開発し、新たな顧客や付加価値を創造しようとする、独創的なビジネスプランを支援するために実施する「かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ」最優秀賞受賞者の事業に対して支援を行った。

#### 新規採択 【1件、助成額 1,978千円】

事業名	事業者	
着物ビギナーもベテランも!綺麗×5分×本格着物の海外展開	GEISHA-TOKYO 藤澤	
『GEISHA TOKYO KIMONO スタイル』	幸子	

#### ⑤ 農商工連携支援事業

県内中小企業等が農林漁業者と連携し、互いの経営資源や先端技術等を活用して行う 新商品・新サービスの開発等に対して支援を行った。

#### ア 継続 【3件、助成額 2,262千円】

事業名	事業者
県産木「100%メイドイン讃岐プロジェクト」の実証	香川県家具商工業協 同組合
県産大豆等を使用したハンバーグ等加工品の開発と販路開拓	有限会社黒川加工食品
「はざまいちじく」の葉っぱ加工商品開発と販路拡大	株式会社TKGアグ リ

#### イ 新規採択 【3件、助成額 1,917千円】

事業名	事業者
骨付鳥およびアスパラガス「さぬきのめざめ」を活用したレトルト カレーの開発と販路拡大	株式会社おがた食研
無人航空機(ドローン)を活用した鳥害対策の取り組みと実証及び操	田辺テクニカルサポ
縦者の育成	ート株式会社
オリーブ酵母と小豆島産イチゴを活用したワインの新商品開発と販	224 ワイナリー株式
路拡大	会社

#### ⑥ 地域資源ブランド化・販路拡大支援事業

地域の資源を活用した商品の開発、戦略的な情報発信等による販路拡大のための実効性のある新たな取組みに対して支援を行った。

#### 新規採択 【6件、助成額 9,658千円】

	事業名	事業者
	デジタルものづくり技術を活用したいぶし瓦製品の開発	有限会社大川瓦店
開発	さぬきオリーブ酵母清酒を中心とした地域資源との相乗的な販 路開拓	香川県酒造協同組合
枠	県内産ニンニクを活用した乾燥ニンニクチップの開発・製造・ 販売による売上向上	白川農場株式会社
	香川県産の海苔で豆菓子を巻くお菓子の製造機械の開発	有限会社筒井製菓

販路	自社ブランド「TIDE」のリブランディングに伴う販路拡大事業	アーバン工芸株式会社
枠	讃岐かがり手まり保存会ブランド化推進	讃岐かがり手まり保 存会

#### ⑦ 国内見本市出展・オンライン販路開拓支援事業

県内中小企業等の国内見本市・WEB 見本市(国内・海外)等への出展、ECサイトやオンライン商談システム等の構築等による販路開拓に対して支援を行った。

新規採択 【14件、助成額 4,706千円】

事業名	事業者
現ホームページのスマートフォン対応等、改良による販路開拓	有限会社今屋老舗
『地銀フードセレクション 2023』出展における新たな顧客獲得に向けた効果的なブース制作	株式会社エフディア イ
健康寿命を延ばす「歩行サポーター」の販売促進に係る展示会出展	香川シームレス株式 会社
香川県産魚、野菜を使ったお魚ハンバーグ等新商品の販路開拓のた め展示会出展	共栄冷凍水産株式会 社
第 34 回グルメ&ダイニングスタイルショー秋 2023 出展事業	銀四郎麺業株式会社
たおれん棒国内見本市の出展	株式会社空撮技研
止水板の国内見本市出展	四国プランニング株 式会社
FIELDSTYLE JAMBOREE2023 出展による全国規模の販路開拓	株式会社スワキャン バス
国際モダンホスピタルショー出展	株式会社セントレデ ィス
「PR TIMES」を利用した当社イチ推し商品《機能性表示食品ルティン含有卵「あらん」》の販路開拓事業	有限会社高島産業
バイヤー特化型 WEB サイト構築による販路開拓	有限会社筒井製菓
『居酒屋 Japan2023 大阪会場』出展	株式会社トラスト・ ジャパン
オンライン展示会への出展及び広告用 web コンテンツ制作事業	日本メディカル株式 会社
讃岐うどんの購買層拡大のための市場調査事業	本場さぬきうどん協 同組合

#### ⑧ 海外見本市出展支援事業

県内中小企業等の海外市場での販路開拓を支援するため、海外で開催される国際見本 市等への出展に対して支援を行った。

新規採択 【3件、助成額 2,121千円】

事業名	事業者
Food Japan2023 出展によるシンガポールでのお米関連商品の拡販事業	くりや株式会社
初生雛雌雄鑑別AIシステムの Poultry India 出展	有限会社電マーク
国際糖質学会 (Glyco26)での展示出展	株式会社伏見製薬所

# 2 産業支援機関事業(財団直営事業を含む。)の状況

## ① 高度産業人材育成事業

分野	実施講座数	受講者数(延べ)
次世代ものづくり技術研修	3	19 名
IT技術研修	3	21 名
IT研修	10	84 名

#### ② 地域企業国内販路開拓支援事業

事業名	実績	件数等
	大手企業出身者(経営支援NPOクラブ会員)の人脈及び経験を活用し、発注案件の発掘や情報収集を行った。 ・発注案件の探索及び紹介件数 13件 ・窓口の紹介や商談機会の創出件数 38件 ・展示商談会の開催支援件数 4件	55 件
発注開拓支援事業	個別商談会の開催 ① 株式会社兼廣(兵庫県) ・開催日 令和5年7月25日 ・参加者数 県内受注企業3社 ② 株式会社酉島製作所(大阪府) ・開催日 令和6年2月7日 ・参加者数 県内受注企業3社	2回
食品商談会開催事業	【食品商談会】     大都市圏等県外の食品関連バイヤー、及び県内の食品関連バイヤーを招聘し、県内食品事業者との商談会を開催した。     ・開催日	1回
国内食品見本市出展事業	【スーパーマーケット・トレードショー】 香川県食品産業の魅力を発信するとともに、県内食品関連企業の販路開拓を支援するため、国内最大級の食品関連 見本市である「第 58 回スーパーマーケット・トレードショー2024」に、香川県ブース(16 小間)を出展した。 ・開催日 令和6年2月14日~16日 ・開催場所 幕張メッセ全館 ・出展者数 県内32者	1回

# ③ 地域企業海外販路開拓支援事業

事業名	内容	件数等
	【国際取引相談】	個別相談
	国際取引支援アドバイザーを配置し、相談会の開催等に	26 件
	より、県内企業等の国際取引相談に対応するとともに、課	
国際取引支援	題・ニーズの把握を行った。	
事業		
	【国際取引支援アドバイザー】	国際取引支援
	久保AD:食品部門、輸出入業務(県内在住)	アドバイザー
	座間AD:化学、情報通信部門、輸出入業務(県外在住)	2名配置
	財団HP内に開設している海外ビジネス専用サイトを活	
「かがわ海外	用し、各支援機関の海外ビジネス支援に関する情報を一元化	
ビジネス支援	して発信することにより、県内企業等の海外展開の支援を行	
総合サイト」	った。	_
	【主な内容】	
	新着情報、財団事業、香川県上海ビジネス展開支援事業、	
	海外ビジネス情報、中国 NAVI 他	

# ④ 地域資源販路拡大支援事業

事業名	内容				
	香川県の地域資源の認知度向上と販路拡大を図るため、地域資源を活				
	用した商品等のブランド力強化を目的として、クリエイターと県内事業				
	者のマッチングを行い、新商品の開発や既存商品のブラッシュアップの				
	支援等を行った。				
2. 2° 3- 6+ 4- 7¢ F	【芸術の街かがわ×地域の資源 新商品・ブランド開発プロジェクト】 地域の資源の魅力をさらに引き出せるよう、商品開発の実績のあるクリエイター5名と県内事業者8者のマッチングを行い、新商品開発支援を実施した(令和4年度~5年度の2年にわたり実施)。  【成果報告会】 ・開催日 令和5年12月19日 ・開催場所 コトマス兵庫町				
かがわ魅力発見	・参加事業者				
事業	クリエイター	県内事業者	地域の資源		
	吉岡 奈緒美	田渕石材株式会社	<b>庵</b> 治石		
	株式会社 H.Y.D. 林 雄三	ウインセス株式会社	手袋(主に工場用等)		
	FooDoo's 松田 泰典	株式会社太洋木材市場	木材		
	₩ARPDESIGN 松原 篤	株式会社パック三樹	ダンボール		
	FURIKAKE 得丸 成人	四国繊維販売株式会社	縫製品(寝具類)		
		株式会社ダイコープロダクト	縫製品(かばん、手袋等)		
		株式会社川口屋漆器店	漆器		
		平田商店	手袋(主に革製品)		
	5名	8者			
1					

コロナ禍を経て、今後売れる商品は何か、そして、自社の強みを活かせる市場・ターゲット顧客をどこに設定するかを中小企業者に考える機会を提供することで、それぞれの商品に合致するターゲット顧客を明確にするとともに、全国展開ができる販路の構築を支援することを目的として、トークセッションの開催や関西圏都市部での試験販売を行った。

#### 【トークセッション~コロナ禍を経て・・・次の風を読む~】

大都市圏の消費者への販路を持つ専門家を講師に迎え、地域の資源を活用した商品に対する消費者ニーズの動向や、コロナ禍以降の消費トレンドの変化を踏まえ、今後売れる商品として何が考えられるかをテーマとしたトークセッションを開催した。

- ·開催日時 令和5年7月7日 14時~16時
- ・開催場所 香川産業頭脳化センタービル 2階 一般研修室
- ・パネラー 有坂 兼司 氏、川端 恵子 氏、岸菜 賢一 氏 7ァシリテーター 竹内 哲也 氏

マーケティング 支援事業

#### 【関西圏都市部での試験販売】

消費者が多い関西圏都市部において、地域の資源を活用した商品のマーケティングを目的とした試験販売を行った。事業の実施に当たっては、バイヤーとしての視点を持ちつつ実店舗での試験販売、そして、適切なフィードバックができる専門家にサポート業務を委託して実施した。

期 間 令和5年10月1日~令和5年10月31日

場 所 きしな屋大阪せんば店(大阪市中央区)

参加事業者 株式会社安岐水産、株式会社藤井製麺、松熊工業株式会社、 丸島醤油株式会社、株式会社八栗

※対象商品:県内中小企業者が販売する、香川の地域性を生かした一般 消費者向けの自社の商品のうち、「食品・酒類・飲料」、「香川県伝統的 工芸品」、「地場産業製品」

地域資源コーディネート事業

コーディネーター2名を配置し、新かがわ中小企業応援ファンド等事業(地域資源ブランド化・販路拡大支援事業)等の幅広い利用促進、シーズの発掘等を行った。

#### ⑤ 新規発掘・事業化コーディネート事業

専任コーディネーター等を配置し、積極的な中小企業回りを通じて、新たなシーズの発掘や事業化の支援、事業終了後のフォローアップ、成果検証等を行った。

#### ⑥ 新商品発表会

県内中小企業者が「新かがわ中小企業応援ファンド等事業」を活用して開発した新商品・新技術を広くPRすることを目的に、新商品発表会(「Made in かがわ 新商品展示販売会 2023」)を丸亀町グリーンで開催した。新商品の展示販売に加え、出展事業者の景品が当たる抽選会も実施した。

- ·開催日時:令和5年11月3日 11時~17時
- ・開催場所:丸亀町グリーン けやき広場
- ・出展事業者:15社(販売ブース14社、展示ブース1社)
- · 来場者数:約1,600人

## 収益事業

#### 1 産業会館事務室提供事業

2,459 千円

産業会館5階に所有するスペースを、公益社団法人香川県シルバー人材センター連合会及 び一般財団法人消防試験研究センター香川県支部に対し、賃貸した。

# その他の事業(相互扶助等事業)

#### 1 異業種交流事業

2, 291 千円

#### (1) かがわ産業振興クラブ運営事業

知事との意見交換会や、セミナー、見学会を開催するとともに、機関誌やメールマガジン等により産業情報の提供を行った。

事業内容	開催日	参加者数
見学会	令和5年9月6日	21 名
セミナー(オンライン配信あり)	令和6年1月29日	110名 ※オンライン視聴 41名を含む
知事との意見交換会	令和5年10月30日	45 名

#### (2) 異業種交流等への支援

各種団体の事務局として当該団体の活動を支援した。

団体名	団体概要	活動内容
香川マルチメディア ビジネスフォーラム (会員数 27)	ITを活用した経営の向上や新たな ビジネスの創出を図るとともに、会 員企業の交流を促進し、本県産業の 振興に寄与することを目的として設 立された団体	<ul><li>○総会・特別講演会・交流会</li><li>○セミナー</li><li>○先進企業等視察研修会(※今年度は未実施)</li><li>○自主活動</li><li>○会員間の情報交換等</li></ul>
香川県デザイン協会 (会員数 59)	県内におけるデザイン振興の中核として、優れたデザインが生み出される環境づくりや、産業界等との連携による産業及び地域文化の発展を図るため、県内デザイナー等により設立された団体	<ul><li>○理事会・総会</li><li>○学生表彰</li><li>○瀬戸内デザイングランプリ</li><li>○四国デザインフュージョン</li><li>○フリーマーケット 等</li></ul>
さぬきプラザ 21 (会員数 15) かがわプラザ 2004 (会員数 33)	技術・市場関連の問題等に関する意見・情報の交換により、会員企業の技術及び経営力の向上を図るため、県内企業等で構成された異業種交流の団体	<ul><li>○総会・交流会</li><li>○講演会</li><li>○先進企業等視察研修会</li><li>○会員間の情報交換 等</li></ul>
J S 研究会 (会員数 32)	県内企業等の自立化推進や人材育成・経営基盤の強化等を研究するため、県内のものづくり系企業で組織された団体	<ul><li>○総会・交流会</li><li>○講演会</li><li>○人材育成研修 等</li></ul>
香川インテリジェン トパーク交流推進協 議会 (会員数 36)	香川インテリジェントパーク(KIP)に立地する企業等の理解、交流及び情報交換を推進し、相互の技術、経営及び学術、文化の向上を図るために設立された団体	<ul><li>○総会</li><li>○会員間の情報交換</li><li>○香川インテリジェントパークの一斉清掃</li><li>○献血 等</li></ul>

#### 2 香川県発明協会事務運営事業

1,012 千円

一般社団法人香川県発明協会の事務運営業務を受託し、事務運営に係る業務を適正に実施した。

# 法人会計

#### 1 一般管理運営事業

94,560 千円

財団運営の全般的管理を行うとともに、理事会及び評議員会の開催、基金等運用収入の確保等により財団事業の円滑実施に努めた。

#### 【評議員会の開催状況】

回次	開催日	開催場所等	主要議題
第 51 回 評議員会	令和5年5月1日	持ち回り	1 「理事の選任について」
第 52 回 評議員会	令和5年5月26日	持ち回り	1「理事の選任について」
第 53 回 評議員会	令和5年6月20日	持ち回り	1「評議員の選任について」
第 54 回 評議員会	令和5年6月26日	高松国際ホテル	1 「理事及び監事の選任について」 2 「評議員の選任について」
第 55 回 評議員会	令和5年6月26日	高松国際ホテル	1「評議員会会長の選任について」
第 56 回 評議員会	令和5年10月1日	持ち回り	1「評議員の選任について」
第 57 回 評議員会	令和5年12月13日	持ち回り	1「評議員会会長の選任について」

#### 【理事会の開催状況】

回次	開催日	開催場所等	主要議題
第 116 回 理事会	令和5年6月2日	香川産業頭脳化センタービル 2階 一般研修室	1 「令和4年度事業報告及び収支決算について」 2 「令和4年度資金運用実績について」 3 「評議員会の招集について」
第 117 回 理事会	令和5年6月29日	香川産業頭脳化センタービル 2階 一般研修室	1「理事長及び副理事長の選定について」
第 118 回 理事会	令和6年1月25日	香川産業頭脳化セ ンタービル 1階 第1会議室	1 「財団の財産処分について」 2 「令和6年度事業計画及び収支予算について」 3 「規程等の一部改正及び制定について」
第 119 回 理事会	令和6年2月29日	香川産業頭脳化センタービル 2階 一般研修室	1「令和5年度収支補正予算について」 2「令和6年度資金運用計画について」 3「令和6年度事業計画及び収支予算について」 4「就業規程の一部改正について」 5「財務規程の一部改正について」 6「常勤理事の報酬について」